

の壁があったりして、自動車やジーパンTシャツ姿の若者を見かけなければ、いったい今はいつの時代に来てしまったのだろうと思う。通りは静かだ。

レーニン頭の次に気になるのはイヴォルギンスキー・ダツァンというロシアでのチベット仏教の中心地である。街から車で 40 分。寺院のあるイヴォルガ村を目指す道の途中、遠くの山に、サンスクリット語やチベット語ではなくロシア語の文字で「オムマニペメフム」と書かれているのが見える。寺院に到着するとレーニンや劇場、教会の景色の記憶は吹き飛ばす。マニ車、タルチョ、ストーパ。全く違う世界。ここはロシアだ。ここはロシアか?と思いつつながら景色を見ている。目に入る度にマニ車を手で回す。大きいのを小さいのをぐるぐる回す。敷地内にあるゲルに入って昼食。テーブルに並ぶのは「シューレン(麺)」「ブーズィ(小さい肉まん)」「バター茶」。料理からの強烈なヒツジ臭。モンゴルで食べた物とほぼ同じだ。ゲル内でこのブリヤート料理。ここはロシアだということもう忘れてる。

いろいろな色を持つウラン・ウデにはどんな人がいるのか。通りを歩く人々の中には日本人と似た顔も見かける。案内してくれたガイドのトゥヤーナさん。英語を話すロシア人女性なのだが容姿は日本人にとっても似ている。今回の旅で訪れた 3 都市、ウラジオストク、イルクーツク、ウランバートルはいずれも再訪、ウラジオストクへは何度目かだが、ウラン・ウデには初めて来た。けれども旅行記タイトル「再び訪れる。」に含めてしまった理由はここにある、そんな日本人に似た人たちに会った時の気持ちから。トゥヤーナさんと並んで街を歩いて話をしていると、昔からよく知っている人と一緒に日本から旅をしているんだという気になってくる。

一泊でウラン・ウデを離れる。この街へ、今度は本当の「再訪」をすることがあるだろうか、などと感傷に浸っている

JIC撮影(2015年7月)



間もなく、鉄道駅から列車に乗り込む。ロシア～モンゴルの国境を越えてウランバートルを目指すのだ。コンパートメントの同居人はアイルランド MR、オランダ MS、イギリス MR、それぞれ単身のバックパッカーたち。ああ、そうだ。この空間にもまた来てしまった。再訪どころか、いったい何回目になるのか「夜行列車」という空間。列車は動き出し、楽しい旅話の時間が始まる。(丁)

JIC ロシアセミナー

今年も JIC ロシアセミナーを開催します。12 月のプーチン大統領訪日を控え、下斗米伸夫先生に、「プーチン訪日と日ロ交渉の行方」と題してホットなテーマで講演していただきます。併せて、ロシア留学「説明・相談会」を開催します。

講演; プーチン訪日と日ロ交渉の行方

講師; 下斗米伸夫先生 (法政大学教授)

日時; 16 年 11 月 19 日 (土) 13:30~17:00

講演会; 13:30~15:00

ロシア留学相談会; 15:15~17:00

会場; 新宿オークタワー 1F 会議室

(地下鉄丸ノ内線「西新宿」徒歩 2 分)

参加費; 無料

申込・問合せ; TEL 03-3355-7294

e-mail = jictokyo@jic-web.co.jp

主催; JIC 国際親善交流センター

ロシア文化フェスティバル 2016 IN JAPAN

* 文化の秋にふさわしく、多彩なプログラムが予定されています。

**アレクサンドル・ソクーロフ監督最新作
「フランコフォニア ルーヴルの記憶」上映**

10 月 29 日 (土) 渋谷・ユーロスペースほか
にて順次ロードショー!!! 詳細 ↓

<http://euospace.co.jp/works/>

ブリヤート共和国「ナムガル」コンサート(口琴・喉歌)

11 月 2 日 (水) 19:00 開場、19:30 開演

会場; 月見ル君想フ(東京・南青山)

11 月 3 日 (祝) 16:00 開演

会場; 武蔵野スイングホール

11 月 4 日 (金) 19:00 開演

会場; 音楽工房ホール(静岡県浜松市)

11 月 7 日 (月) 18:30 開演

会場; 広島県民文化センター

日本とロシア—文学と音楽の世界

11 月 26 日 (土) 東京・ルーテル市谷ホール

クリスマス/アヴェ・マリア ペテルブルグ室内合奏団

12 月 8 日 (木)~25 日 (日)、東京・日野市、埼玉・所沢市、志木市、大阪市、広島・廿日市市、京都市、東京(オペラシティ、東京文化会館)、八王子市、横浜市、千葉市など各地で開催! 詳細は光濛社まで ↓

http://www.koransha.com/orch_chamber/avemaria2016/

